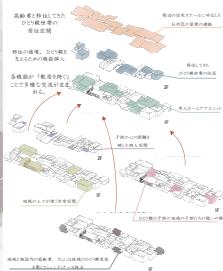


# 敷居跨ギ

## 04 ダイアグラム



都会から移住してきたひび親世帯。子供を育てながら働き、様々な責任がひび親に押し掛かってくる。移住してから歳を取るまでどのような生き方ができ、どのようにまちに溶け込んでいくことができるのか。ひび親が不安を拭いて子供と、地域住民と共に笑顔で過ごしていくための働き方の提案。

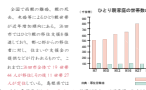


### 01-a 敷地 - 島根県津和野市元法町 -

本施設が所在前に位置する島根県津和野市の中心部は、地形が丘陵地帯で起伏が激しく、法面が急峻な地形に面している。津和野は高齢者の移住先として知られている。高齢者が多く居住している。高齢者などの定住者が特徴として挙げられる。



### 01-b 社会背景 - ひび親世帯の増加と法面での移住支援 -



### 02 設計動機 - ひび親世帯の不安を解く建築 -



### 03 提案 - ひび親の生き方に沿った新しい街開きのカタチ -

介護付き有料老人ホーム+移住してきたひび親世帯の住居の複合施設



